
言語研究センター共同研究

新漢語水平考試 4 級問題を利用した 中国語自動学習システムの開発

加藤 宏 紀

本研究グループでは新HSK（新漢語水平考試）4級の問題を題材とした自動学習システムを開発している。本自動学習システムは、サーバ・クライアントシステムを採用し、ネットワーク内で学習者が個々の要求に応じて、自由に中国語学習を進める環境を提供している。

新HSK4級は「聞き取り」、「読解」、「作文」の三つのパートからなり、1200語程度の単語および常用の文法をマスターしているレベルを対象と

している。

現段階では、新HSK4級の「読解」と「作文」の問題をモデルに自動学習を可能にするためのプログラムを作成している。また、正解を表示するだけでなく、その解説も書き加え学習者の自動学習をしやすいシステム作りを検討している。

今後は「聞き取り」の問題をモデルとするプログラムを作成し、各パートの問題をさらに増やし、中国語自動学習システムを充実させていく。
